



ゆくて遥かに

令和2年7月13日(月)

第116号

長野県松本深志高等学校長

とんぼ祭準備本格化（6月30日～7月9日）

実施が正式に決まったのが6月29日、そこから一斉に走り出しながら、生徒会の役員を中心に、様々な企画についてやり方と可能性を考え、そのために一つ一つ課題をクリアしていく。知恵を結集して一瀉千里に進める、まさにそんな状況の第73回とんぼ祭です。これまで当たり前に来ていたことが当たり前

にできない年、新型コロナウイルス感染症による大変困難な状況の中で、例年がない試練の場となりました。それでもリアルでやるんだ、という決断をした生徒たち、どこにも正解のない中で、自分たちでガイドラインを定め、感染予防対策を最大限優先させながら、とんぼ祭らしさもできる限り追求する、まさしく激闘の準備期間でした。一般公開はせず（公開は発表のある3年生の保護者に限定）、模擬店もない中、学芸協議会（文科系クラブ）の最後の発表の場を中心に据えて、開閉祭式、全校企画、よひまつり、キャンドルアート、弁論大会、インスタ映えコンテスト等も計画。多様な個性と限りなく高い可能性を持ったとんぼたちの結集と躍動を、どんな形で今年のこの特異な状況の中で具現化するのか、注目です。



歌の練習行われる（7月1日、2日）

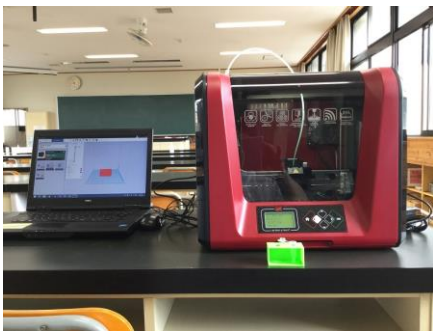
応援団管理委員会主催の春の歌練が、約3カ月遅れで行われました。密を避けるため、1学年7クラスを三つに分けてそれぞれ一日ずつ実施、一つのグループ75分間、5曲（自治を叫びて、古都千年、戦勝の喜び、蜻蛉ヶ丘に、校歌）に絞って集中的に練習、会場はもちろん1棟の屋上です。少人数短期集中型の変則的な歌練ではありますが、応援の叱咤激励は一年生にとっては迫力十分、最後の校歌の頃には、大きな声で堂々と歌い上げる姿が今年も見られました。こうして遅ればせながら、一つずつ深志の通過儀礼を経験していき、深志生になっていってほしいと思います。なお、1グループだけ雨の影響で二日連続順延となり、まだ、終了していません。



3Dプリンター寄贈受ける（7月2日）

株式会社関一精機（代表取締役・近藤毅幸・深志45回）様より、3Dプリンターを寄贈いただきました。最近では、一部の大学や専門高校で徐々に導入が進んでいるようですが、普通高校ではまだまだ、あまり見かけることのない

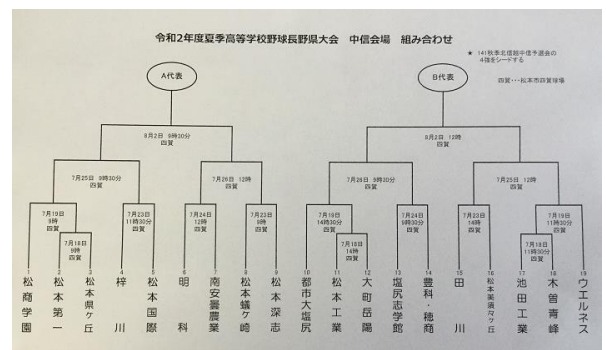
3Dプリンターです。生徒のアイデアやデザインから、実際の造形を容易に作り出すことができ、その修正も自在にできるため、自由な想像力・創作意欲を伸ばすことが期待できるものです。また、3Dプリンターの技術は航空産業や自動車製造業、さらには医療用など多方面で使用されていて、生徒の将来の可能性を広げることにもつながりそうです。近藤社長からも「後輩たちに大いに活用してほしい」と期待の声をいただきました。学校に到着した翌日から、さっそく理科の教材づくり等にフル稼働で利用させていただいています。心より感謝。



その他の話題をいくつか

★ 夏季高等学校野球長野県大会の中信会場の組み合わせが決まりました。今年はコロナの影響で、甲子園の地方大会が中止になり、その代替大会として実施されるものです。代替大会は他に、陸上、ソフトテニス等でも行われます。

★ 8日は大雨特別警報が長野県に出され、最大級の警戒を、ということで休校としました。貴重な準備時間が…。



今週の予定（とんぼ祭、通常授業）

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
13	月	とんぼ祭	
14	火	振替休日 (7/11)	
15	水	一学期成績会議 職員会	
16	木	進路ガイダンス (3年)	
17	金		高校生就職枠拡大要請
18	土	模試 (1・2・3年)	ソフトテニス代替大会会場長
19	日		校長会主体性実行委員会
20	月		松本市高校再編住民説明会

とんぼ祭のようすは次号でお知らせします

